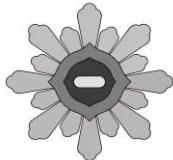


日栄小



輝く

ひえ

令和7年(2025年)

12月22日 第10号

豊郷町立日栄小学校

学校だより

【日栄の子の合い言葉：光り輝け！ 日栄っ子たち】

明日が今学期のしめくくりです。日々の学習はもとより、運動会や校外学習などの行事でしかできない経験を積み重ね、全てが学びとなって子どもたちの成長につながりました。それぞれの子どもの粘り強い頑張りと、教職員の精励の成果だと喜んでいます。様々な場面や多くの出来事が保護者の皆様の心にも刻まれたことだと思います。ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。冬休みは慌ただしい時期ですが、2学期の思い出話などにも花を咲かせていただいて、笑顔あふれる年末年始をお過ごしください。

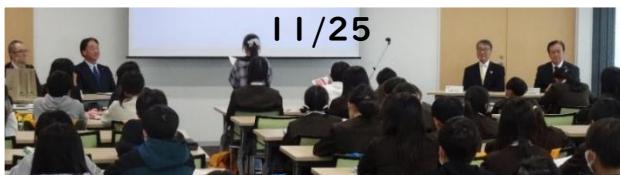
## 自己肯定感を育む

自己肯定感とは、「自分は大切な存在だ」と思える感覚のことです。自己肯定感が高いと前向きに頑張り、新しいことにも挑戦できます。低いと失敗を恐れてチャレンジすることができず、学習への意欲も低下しがちになると言われています。

冬休みは、自己肯定感を高めるチャンスです。家の中で子どもの役割をつくることが自己肯定感をあげると言われているからです。年末の大掃除等の手伝いや仕事で役割を果たすことができた子どもに、(いつも伝えておられると思いますが)是非「ありがとう」と伝えてください。身近な人にありがとうと言われると自己肯定感が増します。自分のした行動の結果が、他の人を嬉しい気持ちにする、感謝されるという経験が自己肯定感をアップさせます。やってもらうばかりの自分ではない、自分も人の役に立つという経験、「ありがとう」といってもらえる場所があることが、子どもの心を支えると言われています。(医学博士 成田奈緒子氏著書 参考)

## ☆～☆こんなことがありました☆～☆

### 6年生丸紅訪問 多くの方に感謝！



創業者 伊藤忠兵衛氏の出身地という縁で、総合商社丸紅株式会社大阪支社への訪問が実現しています。SDGsのお話や空飛ぶクルマのお話など大企業から大きな学びを得ました。

午後からは、大阪企業ミュージアムを見学して、日本を発展に導いた先人の功績を学びました。写真は伊藤忠兵衛氏の説明をしている子どもたちです。



12/1 県下一斉清掃の取組



子どもたちはそれぞれの担当場所のゴミ拾いや草むしりをしました。身近な美化活動が琵琶湖を守ることにつながっていると知る機会となりました。

視覚障がいの当事者、出会った時、点字、見えないもののイメージ化について、例をあげて説明してくださいました。

“ビリーブ、にじ、勇気100%”等の歌は、子どもたちも口ずさんだり手拍子をしたりして、身を乗り出して聞き入っていました。

音楽ユニット「わ音」のお2人



子育て講演会

# 令和7年 12月6日(土) 日栄小学校 創立150周年記念行事

後援会や同窓会の方々、地域や保護者の皆様、また卒業生の方々のご支援とご協力のおかげで、盛会のうちに終えることができました。改めて感謝申しあげます。皆様のお力添えにより、笑顔と温かい拍手に包まれた素晴らしい記念行事を実現することができました。子どもたちや教職員が、さらに日栄小学校の歴史と伝統を実感し、誇りをもって皆様と共によりよい未来を築いていけることを願っております。

2年生制作の巨大バースディケーキ



タイムカプセル(1年前の自分からの手紙)を前日に配布。  
1年生には、6年生実行委員から手紙をプレゼントしました。



様々な年代の卒業生の方からお寄せいただいた思い出作文、長年保存していた古いアルバムや教科書などを、手に取ってご覧いただきます



オープニングは2年生の演奏「ハッピーバースディ」



日栄小○×クイズ



江州音頭保存会の皆様の華麗な演舞。子どもたちや参会者の手拍子や「そりやよいとよいやまっかどっこいさのせー」のかけ声で盛りあがりました。



「思い出動画」の視聴タイム。ランチルームでは「小学校に60年ぶりに来たわ」と仰る方、他市から来てくださった卒業生の方もいてくださいって感激しました

劇団 風の子「ユエと瑠璃色の石」



出番を待つバルーンたち



風のない晴天でした。  
感謝です。



150年を礎に日栄小学校の  
新たな歴史を刻む次世代に  
向けてのスタート。

みんなで  
バルーンリリース

日栄小学校から  
世界に向かって  
羽ばたいていく  
子どもたちの姿が  
連想されました。

通学路を帰りながら  
小学生時代を思い出し  
心に残る一日となりました。

(町内の方から素敵なお手紙をいただきました。一部抜粋)